

令和7年度 事後評価シート

施策	34公衆衛生の向上と消費者の安全確保
K G I	①人口10万人当たりの食中毒患者数(令和4年から8年までの5年間県平均値) 【基準値】19.3人(H27年からR元年までの5年間平均) 【目標値】全国平均値

【細施策シート】

策シート】

								担当部局	保健福祉部		
細 施 策		34_04	薬物乱用、毒劇物等事故防止対策の推進						施策KGI	①	
K G I		麻薬等の薬物事犯における検挙者数（年次単位）									
		KGI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
			R 4 年 度	目標値	0 人	目標値	0 人	目標値	0 人	目標値	0 人
		基準値	118 人	実績値	89 人	実績値	83 人	実績値	105 人	実績値	人
				達成率	0 %	達成率	0 %	達成率	0.0 %	達成率	%
ストック/フロー	フロー	成果進捗評価	不調	成果進捗評価	不調	成果進捗評価	不調	成果進捗評価			
7 年 度	要因分析 【必須】	県内の過去5年間薬物事犯の検挙人員数は減少傾向にあったが、令和7年は、覚醒剤、麻薬、大麻等による検挙者が増加し、前年度比26.5%増となった。 近年、若年層での大麻乱用が広がっており、大麻由来成分を含むクッキーや電子タバコ等で摂取するエトミデートなどの危険ドラッグ類の乱用も増えており、SNSを通じた購入が可能なものもあるため、居住地を問わず、誰もが違法薬物を入手しやすい環境が形成されつつあることが考えられる。									
	見直し方向性 【必須】	未規制薬物を国に先んじて県知事指定薬物に指定して取り締まるとともに、薬物乱用を許さない社会環境の醸成に向け、薬物の有害性・違法性に関する正しい知識を周知・啓発をさらに進めていく必要がある。特に、若年層での大麻乱用が広がっていることから、関係機関と連携するとともに、学校での薬物乱用防止教室や地域イベントでの対面の啓発活動に加えSNS等、若い世代に対する効果的な薬物乱用防止啓発活動を強化する。									